

[ライフ・イノベーション分野]
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和6年度

東九州メディカルバレー構想特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年7月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i)、ii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

4.6

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	研究開発プロジェクト数	161%	5
2	医療関連機器の市場化件数	227%	5
3	新規医療機器製造登録事業所・製造販売許可業者数	100%	5
4	医療関連機器の海外展開数	72%	3
5	医療関連技術人材育成数	543%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 4 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) \div 5 = 4.6$

4.6

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.6

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

3.9

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

-

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.7

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

・研究開発・市場化・人材育成で全国的に高い水準の成果を示しており、地域産業集積と活性化には大きく寄与していると考えられる。一方で、国際競争力強化(輸出製品の拡大)と制度支援の実効的活用が次期の最大課題と思われる。

・本特区は、研究開発、市場化、人材育成の各面で高い達成度を示しており、地域経済の活性化と医療機器産業クラスターの形成に大きく貢献している。
・これまでの取組は順調かつ成果豊かなものであり、優れた取組として評価できる。

・1つを除くほぼ全ての指標で目標達成を継続している点が高く評価できる。医療関連技術人材育成数は今後目標を上方修正し、更なる取組に挑戦しても良いかもしれない。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.6+3.9+4 \times 2) \div 4=4.1$

4.1

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。